

## 健診の尿検体から *Diploscapter coronata* が検出された 77 歳女性の一例

<sup>1</sup> 公立昭和病院

○本城 晴紀<sup>1</sup>、小田 智三<sup>1</sup>、大場 邦弘<sup>1</sup>、村田 岳哉<sup>1</sup>、牧野 憲嗣<sup>1</sup>、田中 智子<sup>1</sup>、横沢 隆行<sup>1</sup>

【はじめに】健診の尿検体から *Diploscapter coronata* と推定される寄生虫が検出された 77 歳女性の一例を経験した。日本からの *Diploscapter coronata* 感染の報告は少なく貴重な症例と考え報告する。

【症例】当院健診センターで尿検査施行した際に尿沈渣で糞線虫を疑わせる寄生虫所見を認め、当科紹介となった 77 歳女性。患者は元中学校英語教員で生来健康。国内・海外渡航歴は多数あり（沖縄・北米・南米・ヨーロッパ・東南アジア各国）。またこの 15 年間 2 回/月は登山で山の湧水をよく飲むとのこと。自他覚所見ともに特記すべきことなし。再検の尿検体や便寄生虫検査からは虫体確認できず。寄生虫は形態から桿線虫と判断された。寄生虫抗体検査スクリーニング検査は全て陰性であった。コンタミネーションであるか否かが争点となっており、3 カ月毎に尿・便検査、寄生虫検査施行し現在も経過観察している。鏡顕写真をもって寄生虫学の専門家にご相談したところ虫体は *Diploscapter coronata* である可能性を指摘された。

【考察・結語】コンタミネーションの可能性は否定できないが、コンタミネーションとして遭遇する機会の少ない寄生虫であることから引き続き経過観察が必要と考える。

## *Gordonia sputi* によるカテーテル関連血流感染症の一例

<sup>1</sup> さいたま市立病院 中央検査科、<sup>2</sup> さいたま市立病院小児科、<sup>3</sup> 獨協医科大学病院 感染制御センター、<sup>4</sup> 獨協医科大学病院 臨床検査センター、<sup>5</sup> さいたま市立病院 感染症科・感染管理室

○佐藤 由可<sup>1</sup>、古市 宗弘<sup>2</sup>、吉田 敦<sup>3</sup>、奥住 捷子<sup>3</sup>、菱沼 昭<sup>4</sup>、今上 絵理<sup>1</sup>、丹野 繁<sup>1</sup>、川田 真幹<sup>5</sup>

【はじめに】*Gordonia* 属は土壌などに広く分布する *Corynebacterium* 様のグラム陽性桿菌で、*Nocardia* 属などの好気性放線菌の近縁に分類される。今回、免疫抑制剤を使用中に *Gordonia sputi* によるカテーテル関連血流感染症（CRBSI）を発症した一例を経験したので報告する。

【症例】42 歳男性。10 歳頃、慢性特発性腸閉塞症候群と診断され、イレウス解除等の手術を繰り返したが経口摂取困難となり、19 歳で中心静脈栄養が開始された。37 歳時に抗リン脂質抗体症候群、全身性エリテマトーデスと診断されプレドニゾロンとアザチオプリンを内服中であった。2012 年 2 月に腰椎圧迫骨折のため入院となった。第 9 病日に感染源不明の発熱を認め、血液培養 2 セット採取後 CFPM 投与を開始したが解熱しなかった。第 12 病日に血液培養から分岐を伴わない *Corynebacterium* 様グラム陽性桿菌を検出し、CRBSI と診断。血液培養 1 セット追加後に抗菌薬を VCM と MEPM に変更し、エタノールロック療法（ELT）を開始したところ、速やかに解熱した。中心静脈カテーテルは温存したが ELT と MEPM 中止後も経過良好で VCM（計 18 日投与）を終了した後も CRBSI の再燃は認めなかった。

【微生物学的特徴】血液培養（計 3 セット）は全て好気ボトルのみ陽性となった。分離菌株はチョコレート寒天培地 EX II（日水製薬）上で、1 日目は辺縁不規則で表面の乾燥した白色小コロニーであったが、3 日目にはサーモンピンク調を呈した。RapID CB plus（アムコ）では *Rhodococcus equi* と判定されたが、後日、16SrRNA 遺伝子解析を実施したところ *G.sputi* と同定された。

【考察】*G.sputi* は免疫不全者の CRBSI の原因となることが報告されている。本菌種は特徴的コロニー形態を示すが生化学的性状のみで同定することは困難であり多くの患者で見逃がされている可能性が考えられた。

【非会員外共同研究者】さいたま市立病院小児外科 中野美和子 吉田文子 森昌玄